

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2007年度第11回常任委員会議事録

1 日時：2008年2月20日(水)午後4時から午後7時34分まで

2 場所：東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル2階266区JPF事務局
(NGO、オブザーバーおよびゲスト退席でのクローズド審議は同ビル670区B会議室)

3 出席者の確認

常任委員総数6名のうち、6名の出席をもって常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：折居徳正(池田常任委員の代理)

NGOユニット：橋本笙子(大西常任委員の代理)

外務省：伊藤直樹(第一部審議事項(2)から出席。欠席中の表決権委任：鈴鹿光次)

日本経団連：斎藤仁

財団：加藤広樹

学識経験者：中村安秀

アドバイザー

広島県：宮谷幸三(脇本アドバイザーの代理)

理事

代表理事：長有紀枝

オブザーバー

外務省：鈴鹿、坪田

AAR：堀江、坪井

ADRA：橋本

CARE：武田、貝原塚

SCJ：宮下、山本、林田

ICA：田中

IPAC：池上

JADE：白川

JAFS：横山

JAR：石井

JEN：平野

NICCO：折居

PWJ：牛田、柴田

WVJ：坂

学生ネット：船橋、松倉

日立プラントテクノロジー：福田

書式第6号

4 座長の選出

本会座長として、折居徳正氏を全会一致で選出した。

5 第一部：審議事項

(1) 第一号議案：2007年度第10回常任委員会議事録の承認

事務局より、2007年度第10回議事録(案)が上程された。審議の結果、同案をもって当該議事録とすることを全会一致で可決した。

(2) 第二号議案：東ティモール人道支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

PWJ：「ディリ市内および地方における国内避難民支援事業」(政府支援金)
承認。

(3) 第三号議案：パキスタン水害被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

JADE：「パキスタン水害被災者シェルター配布事業」(政府支援金)
承認。

(4) 第四号議案：スマトラ島南西沖地震被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

SCJ：「スマトラ島南西沖地震被災者支援初動調査」(政府支援金)
承認。

(5) 第五号議案：南部アフリカ干ばつ被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

JAR：「スワジランド干ばつ被災者支援初動調査事業」(政府支援金)
承認。

(6) 第六号議案：ジャワ島地震被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

JPF：「ジャワ島地震被災者支援現地実態調査事業」(民間資金)
承認。

JPF：「ジャワ島地震被災者支援報告事業」(民間資金)
承認。

(7) 第七号議案：南部アフリカ干ばつ被災者支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

CARE：「レソト・センク川渓谷(山岳地帯)における干ばつ被災者支援事業」(政府支援金)
承認。ただし、経費については項目も含め事務局および外務省と整理すること。

(8) 第八号議案：スリランカ人道支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

IPAC：「スリランカ中部人道支援初動調査」(政府支援金)

承認。

- (9) 第九号議案：バングラデシュ・サイクロン「シドル」被災者支援にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

JAFS：「バゲルハット県のシドル被災者に対する養殖池づくり」（民間資金）

承認。

- (10) 第十号議案：新潟県中越沖地震被災者支援にかかる民間資金内における財源変更の承認
事務局より、返還金額が確定していないため、本会の審議事項から取り下げる旨の報告がなされた。

6 第一部：協議・報告事項

- (1) 広報戦略委員会の進捗報告について

事務局より、広報戦略委員会における検討事項がJPFの組織運営全般と密接な関係があるため、同委員会の名称を経営戦略委員会に変更する旨の報告がなされた。また、2月13日開催の同委員において、JPF設立以来の実績と今後の方向性の課題を抽出し、JPFが担うものを取りまとめている旨、ならびに、JPFの広報活動を充実させる観点から、各セクターの主体的関与の方策を検討している旨の報告がなされた。

加藤常任委員より、議論を取りまとめるスケジュールを策定すべき旨の発言がなされた。また、斎藤常任委員より、広報の目的と対象を整理すべき旨の発言がなされた。

- (2) 企業との連携報告について

事務局より、書面をもって、企業との連携について報告がなされた。

伊藤常任委員より、JPFの説明文言について指摘がなされ、経営戦略委員会において文言を整理することとした。

なお、当面は「国際人道支援組織」とすることを確認した。

- (3) 書面による報告について

事務局より、書面をもって、以下の事項の報告がなされた。

政府支援金および民間資金財務状況の報告

事業計画変更の報告

メール審議結果の報告

JPF事務局審議結果の報告

メディア報道の報告

JPFの活動報告と予定の報告

- (4) 次回常任委員会の開催日時・会場について

次回常任委員会は、2008年3月18日午後4時よりJPF事務局において開催することとした。

- (5) イラク人道支援WGの進捗報告について

イラク人道支援WGを代表してSCJ宮下氏より、より効果的あるいは中長期的な支援を実施するための方策を協議するため同WGを立ち上げた旨の報告、また、JPF事務局による事業調整および連携推進によりスムーズな事業着手が可能となった旨の報告がなされた。

- (6) NGOユニットによるODA改革提言WGの進捗報告について
NGOユニットによるODA改革提言WGを代表してNICCO折居氏より、現地で支援事業を実施するNGOの観点から、2月25日に外務省国際協力局政策課長である伊藤常任委員と意見交換を行う旨の報告がなされた。伊藤常任委員より、JICA担当部局も交えて問題点や改善点等について忌憚ない意見交換を行いたい旨の発言がなされた。
- (7) スーダン南部人道支援にかかる現地調査の報告について
長代表理事より、2月22日開催の自由民主党政務調査会外交調査会「国際NGOに関する小委員会」において、JPFスーダン南部人道支援の説明を行う旨の報告がなされた。
- (8) NGOユニット会費について
NGOユニットを代表してNICCO折居氏より、2月20日開催のNGOユニット全体連絡会において協議した結果、2007年度と同規模のNGOユニット会費により、2008年度においてもJPF組織運営を支えることを確認した旨の報告がなされた。
- (9) 常任委員会の議事運営について
次回常任委員会は、議事運営の効率化の観点から、クローズド審議を冒頭に行うことを確認した。

7 第二部：審議事項

- (1) 第一号議案：2008年度事業計画を理事会に提議することの承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
継続審議。
指摘事項を修正のうえ、メール審議に附すこと。
- (2) 第二号議案：2008年度予算を理事会に提議することの承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
継続審議。
指摘事項を修正のうえ、メール審議に附すこと。

8 第二部：協議・報告事項

- (1) 2008年7月以降の理事会の構成について
NGOユニットを代表してNICCO折居氏より、2008年7月以降の理事会の構成に関し、正会員の改正について報告がなされた。

以上